

科目名・単位数	管理会計Ⅱ 2単位	科目分類	管理会計系	発展科目
配当年次	1年次・秋学期・昼・夜	担当教員	やすだ まさよし	
履修形態	選択必修		保田 順慶	
授業概要	<p>管理会計Ⅱでは、管理会計Ⅰでの内容をステップアップして学習する。管理会計の目的は、製品原価を正確に計算してこれを経営戦略に役立てることにある。しかし原価計算の価値は、この製品原価の計算をした結果を単に求めるだけでなく、製品原価が企業に何らかのプラスの情報を提供することにその意義がある。本講義では、企業が原価情報をどのような経営戦略や意思決定に役立てているかを具体的な計算例を紹介しながら学習を進める。</p>			
到達目標	<p>意思決定問題を含めてプロダクト・コストに関する知識を身に付け、それを行いうる能力を培うこと。また、企業価値評価、BSC、資金管理の基礎知識を身につけること。</p>			
授業方法	<p>講義形式で配付資料に基づいて進める。</p>			
事前・事後学習	<p>毎回事前に配付資料を通読して、不安がある項目については参考図書等で学習しておくこと（90分）。また、期末テストに備えて、講義終了後には講義内で扱った例題を再度解き直しておくこと（90分）。</p>			
成績評価の方法	<p>中間テスト40%、期末考査60%の割合で評価する。ただし、映像講義に変更になった場合には、中間テストは実施せず期末考査（解答したものをデータ提出）のみの実施とする。映像講義に変更になった場合には、各講義の課題提出等の取り組みをもって20%、期末考査（データ提出）で80%の割合で評価する。</p>			
フィードバックの方法	<p>期末試験の解説については、終了後に実施する。</p>			
履修上の注意	<p>管理会計を学ぶ強い意欲を持って授業に臨むこと。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>1. ガイダンス・予算管理（1） ガイダンスを実施する。予算管理の体系（長期予算、短期予算）について、歴史的経緯を踏まえて概観し、基本予算の編成手続きについて学習する。</p>			
第2回	<p>2. 予算管理（2） 予算実績比較損益計算書の作成、予算実績差異について学習する。主に販売活動に関する差異分析手法について詳しく学習する。</p>			
第3回	<p>3. 予算管理（3） 予算統制の手法としての販売活動の差異分析について学習する。コストマネジメントのみならず、収益マネジメントの考え方について理解する。</p>			

第4回	4. 事業部の業績測定（1） 事業部制組織の長所と短所について、具体例を示しながら検討する。計算事例として、固定費の貢献差益法、事業部長の業績測定（管理可能投下資本利益率、管理可能残余利益など）を学習する。
第5回	5. 事業部の業績測定（2） 事業部長と事業部自体の業績測定が同じでないことを念頭におき、前講義の事業部長の業績測定を復習し、本講義では事業部自体の業績測定（投下資本利益率、純残余利益など）を学習する。
第6回	6. 意思決定会計 経営意思決定の意義、分類（構造的意思決定、業務執行上の意思決定）、プロセス、経営意思決定に必要な原価概念（認識基準、測定基準）と経営意思決定の方法について説明する。
第7回	7. 差額原価収益分析（1） 特別注文可否の意思決定（総額法による解法、純額法による解法）、内製か購入かの意思決定問題について、具体例を用いて学習する。追加加工の可否の意思決定（総額法による解法、純額法による解法）、セグメントの廃止か継続かの意思決定について、具体的な計算例を用いて学
第8回	8. 中間テスト ここまでの内容の理解を試す効果測定を実施する。試験終了後に解答および解説の配付および解答上のポイントについて解説する。
第9回	9. 差額原価収益分析（2） 在庫管理のための経済的発注量の計算について、具体的な計算例を用いて学習する。設備投資の意思決定の特徴について、プロジェクトの評価方法等を学習する。
第10回	10. 設備投資の意思決定（1） 設備投資の意思決定の基礎的な知識を学習する。貨幣の時間価値概念やプロジェクトの評価方法について学習する。
第11回	11. 設備投資の意思決定（2） 戦略的意思決定におけるキャッシュ・フローの把握方法について学習する。タックスシールドの取り扱い、新規投資や取替投資について学習する。戦略的意思決定における不確実性下の意思決定方法や正味現在価値法と内部利益率法の比較等について学習する。
第12回	12. 企業価値 フリーキャッシュフローモデルによる企業価値評価方法について学習する。また、EVAモデルによる企業価値の評価方法についても学習する。
第13回	13. 原価企画・資金管理の基礎・品質管理会計の考え方 原価企画の基礎的な知識について説明する。資金管理の基礎的な知識の説明や品質管理会計の考え方について説明を行う。
第14回	14. BSC BSC（バランスト・スコアカード）の4つの視点の詳細やスコアシートの作成方法、BSCのマネジメントコントロールシステムにおける位置づけ、BSCに対する批判について学習する。
第15回	15. 期末考査（授業内試験） 講義内において期末考査を実施する。試験終了後に解答および解説の配付および解答上のポイントについて解説する。
テキスト	講義時に資料を配付する。
参考図書	山本浩二、小倉昇ほか編『管理会計論第2版』スタンダードテキスト（中央経済社）